さいたま市感染症発生動向調査（週報）

平成 29 年 8 月 2 日

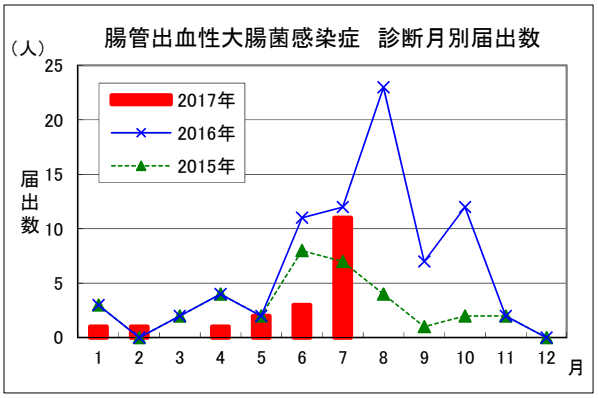
平成 29 年第 30 週（7 月 24 日～7 月 30 日）

★腸管出血性大腸菌感染症にご注意を！

■全数把握対象疾患（結核を除く）

三類感染症の**腸管出血性大腸菌感染症** 7 人（病型：患者 5 人、無症状病原体保有者 2 人、血清型：O157 7 人）の報告がありました。**腸管出血性大腸菌感染症**の今年の累計は 19 人となりました。

五類感染症の**水痘（入院例に限る）**1 人（病型：検査診断例）、**梅毒** 3 人（病型：早期顕症梅毒Ⅰ期 2 人、無症状病原体保有者 1 人）の報告がありました。



★手足口病が流行警報レベルとなりました！

■定点把握対象疾患

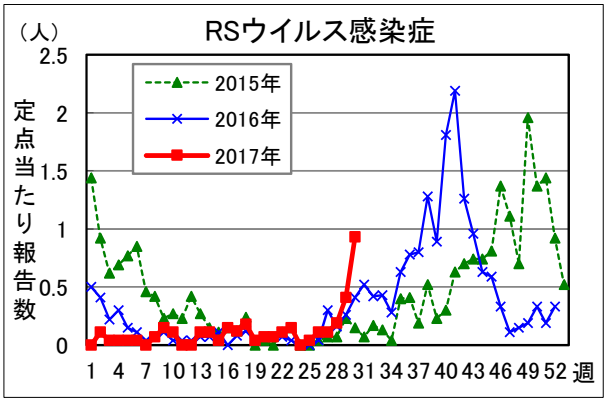
手足口病の定点当たり報告数は、先週の 3.00 人から 6.26 人（報告数 169 人）と増加しました。流行警報開始基準値（定点当たり 5 人）を超えていて注意が必要です。

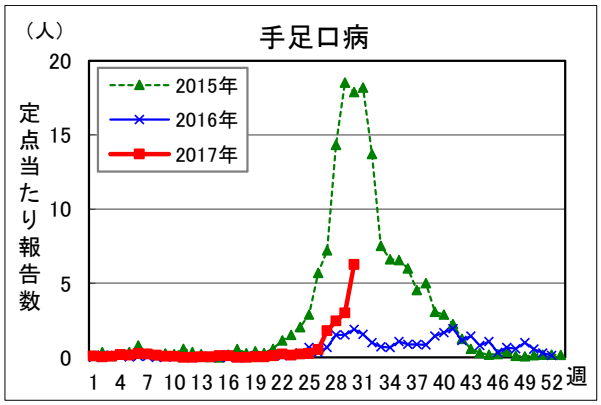
インフルエンザ、RS ウイルス感染症、水痘、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎の報告が増加しました。**RS ウイルス感染症**は市内の過去の同時期と比較して最も多い状況です。

咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多い状況が続いています。

細菌性髄膜炎の報告が 1 人（50-54 歳）ありました。

感染症の予防のため、手洗い、ウガイ、咳エチケットを行い、タオルやコップの共用は避けましょう。





■定点当たり報告数表（第30週　8月1日 13：00集計）

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
インフルエンザ	0.15	↑	★
RSウイルス感染症	0.93	↑	★★
咽頭結膜熱（プール熱）	1.19	→	★★★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.52	↓	★★
感染性胃腸炎	5.22	→	★
水痘（みずぼうそう）	0.70	↑	★
手足口病	6.26	↑	★★
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.07	→	★
突発性発しん	1.00	→	★
百日咳	0.00	→	★

疾患名	定点当たり	推移	流行状況
ヘルパンギーナ	1.59	↑	★
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.48	↑	★
急性出血性結膜炎	0.00	→	★
流行性角結膜炎（はやり目）	1.25	↑	★★
細菌性髄膜炎	1.00	報告数が少ないため表示せず	
無菌性髄膜炎	0.00		
マイコプラズマ肺炎	0.00		
クラミジア肺炎	0.00		
インフルエンザによる入院患者	0.00		
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	0.00		

※推移：2週間前からの傾向を示します。（→：増減無し、↑：増加、↓：減少）

※流行状況：過去5年のデータをもとに、流行の大きさを示します。（小さい　←★、★★、★★★→　大きい）

さいたま市健康科学研究センター（さいたま市感染症情報センター）TEL：048-840-2250　FAX：048-840-2267

感染症発生動向調査　週情報（患者報告数、定点当たり報告数、年齢階級）

（2017年第30週　平成29年7月24日～7月30日）

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-
インフルエンザ　#1	6	0.15	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	1	-

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20歳-
RSウイルス感染症	25	0.93	3	5	10	5	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	32	1.19	-	-	5	9	4	5	2	3	1	2	1	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41	1.52	-	-	2	1	5	5	5	7	7	4	2	2	-	1
感染性胃腸炎	141	5.22	5	15	21	23	13	13	9	7	5	3	3	17	2	5
水痘	19	0.70	-	1	1	2	2	-	2	1	1	6	2	1	-	-
手足口病	169	6.26	-	24	62	31	15	21	10	2	-	2	-	-	-	2
伝染性紅斑	2	0.07	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	27	1.00	-	4	19	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	43	1.59	-	4	11	12	8	3	2	3	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	13	0.48	-	-	-	-	-	1	3	2	1	1	1	2	-	2

	報告数	定点当たり	-6ヵ月	-12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	10	1.25	-	-	-	1	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	3	1

	報告数	定点当たり	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-
細菌性髄膜炎　#2	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎　#3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インフルエンザによる入院患者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ロタウイルスによる感染性胃腸炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（ー：0）

#1　鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

#2　インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く

#3　オウム病を除く

流行状況･･･　　:警報レベル、　　:注意報レベル

8月 1日　13:00 集計

全数把握対象疾患届出数（2017年）

類型	疾患名	2017年第30週受理分	2017年累計 ※1	2016年累計 ※1,2	疾患名	2017年第30週受理分	2017年累計 ※1	2016年累計 ※1,2
一類	エボラ出血熱	0	0	0	ペスト	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	マールブルグ病	0	0	0
	痘そう	0	0	0	ラッサ熱	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0				
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	中東呼吸器症候群（MERS）	0	0	0
	結核 ※3				鳥インフルエンザ（H5N1）	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	鳥インフルエンザ（H7N9）	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0				
三類	コレラ	0	0	0	腸チフス	0	1	0
	細菌性赤痢	0	0	6	パラチフス	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	7	19	43				
四類	E型肝炎	0	0	7	東部ウマ脳炎	0	0	0
	ウエストナイル熱	0	0	0	鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く）	0	0	0
	A型肝炎	0	3	1	ニパウイルス感染症	0	0	0
	エキノコックス症	0	0	0	日本紅斑熱	0	0	0
	黄熱	0	0	0	日本脳炎	0	0	0
	オウム病	0	0	0	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0
	オムスク出血熱	0	0	0	Bウイルス病	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	鼻疽	0	0	0
	キャサヌル森林病	0	0	0	ブルセラ症	0	0	0
	Q熱	0	0	0	ベネズエラウマ脳炎	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	発しんチフス	0	0	0
	サル痘	0	0	0	ボツリヌス症	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	マラリア	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	野兎病	0	0	0
	腎症候性出血熱	0	0	0	ライム病	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	リッサウイルス感染症	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	リフトバレー熱	0	0	0
	炭疽	0	0	0	類鼻疽	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	レジオネラ症	0	3	13
	つつが虫病	0	0	0	レプトスピラ症	0	0	0
	デング熱	0	2	7	ロッキー山紅斑熱	0	0	0
五類	アメーバ赤痢	0	12	16	侵襲性肺炎球菌感染症	0	17	26
	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	0	3	4	水痘（入院例に限る）	1	4	0
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	2	10	先天性風しん症候群	0	0	0
	急性脳炎	0	14	12	梅毒	3	40	65
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	播種性クリプトコックス症	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	破傷風	0	0	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	7	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0
	後天性免疫不全症候群	0	7	19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0
	ジアルジア症	0	0	0	風しん	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	6	3	麻しん	0	1	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	2	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0
新型インフルエンザ等感染症	規定されている疾患は、現在のところありません 。							
指定感染症	該当する疾患は、現在のところありません。							

※1 累計は診断日で集計しています。　※2 2016年累計は速報値となっています。

※3 結核は四半期ごとに集計し、感染症情報センターホームページに掲載しています。

2017年8月1日　15:00集計